



TITLE:

京大広報 No. 521

AUTHOR(S):

京都大学広報委員会

CITATION:

京都大学広報委員会. 京大広報 No. 521. 京大広報 1998, 521: 437-446

ISSUE DATE:

1998-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/209211>

RIGHT:

ファイル中には未許諾による非表示部あり.



京大広報

No. 521

1998. 2



2月2日の吉田神社「追儺式」

目次

〈大学の動き〉

- 部局長の交替等438
- 名誉教授称号授与式438
- 平成10年度入学者選抜学力試験
（第2次学力検査）の期日等438
- 平成10年度入学者選抜学力試験
（第2次学力検査）の志願状況439
- 自衛消防団員に感謝状贈呈440

〈部局の動き〉

- 第3回医学教育ワークショップ
（KUROME-3）の開催440

〈医療技術短期大学部の動き〉

- 平成10年度医療技術短期大学部入学者
選抜学力試験について441

〈日誌〉441

〈栄誉〉

- 島田虔次名誉教授が
日本学士院会員に選ばれる442

〈訃報〉443

〈随想〉

- フィトンチッドー植物の生きる知恵ー
名誉教授 角谷 和男445

〈お知らせ〉446

大学の動き

部局長の交替等

霊長類研究所長

杉山幸丸霊長類研究所教授（社会生態研究部門担当）が1月16日霊長類研究所長に再任された。

任期は平成11年3月31日までである。

名誉教授称号授与式

1月22日（木）午後1時から、総長室において総長特別補佐、部局長10名出席のもとに名誉教授称号

授与式が挙行され、井村裕夫前総長に称号が授与された。

平成10年度 入学者選抜学力試験（第2次学力検査）の期日等

平成10年度入学試験（第2次学力検査）を、次の予定で実施する。

○ 前期日程試験

月 日	教 科	学 部	時 間
2月25日 (水)	国 語	総合人間「文系」・文・教育・法・経済「一般」	午前9時30分～11時30分
		総合人間「理系」・理・医・薬・農	午前9時30分～11時
	数 学	総合人間「文系」・文・教育・法・経済「一般」	午後1時～3時
		総合人間「理系」・理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
2月26日 (木)	論 文	経済「論文」	午前9時30分～12時30分 午後2時～4時30分
	外 国 語	総合人間・文・教育・法・経済「一般」・理・医・薬・工・農	午前9時30分～11時30分
	理 科	総合人間「理系」・理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
	地理歴史	総合人間「文系」・文・法・経済「一般」	午後1時～2時30分
	論 文	経済「論文」	午前9時30分～12時

○ 後期日程試験

月 日	教 科	学 部	時 間
3月13日 (金)	国 語	総合人間・文・教育・経済	午前9時30分～11時30分
	論 文	医	午前9時30分～11時30分
	数 学	総合人間・教育・経済	午後1時～3時
		理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
3月14日 (土)	論 文	文	午後1時～3時
	外 国 語	*総合人間	午前9時30分～11時45分
		文・教育・法・経済・医・農	午前9時30分～11時30分
	論 文	薬	午前9時30分～11時30分
	理 科	理・医・薬・工・農	午後1時～3時30分
	論 文	教育	午後1時～3時
		法	午後1時～3時30分

(注) *総合人間学部（後期）の外国語の試験において、ドイツ語、フランス語、中国語を選択した者は、聞き取りテストを行わないので、午前9時30分～11時30分とする。

平成10年度入学者選抜学力試験（第2次学力検査）の志願状況

志願票の受付は、1月26日（月）から2月4日（水）までの間に、各学部で行われた。学部別の入学志願者数は、次表のとおりである。

（平成10年2月4日15時現在）

学 部		募集人員	志願者数	倍 率	(参考) 昨年度 (最終)				
					募集人員	志願者数	倍 率		
総合人間学部	前期	110 人	398 人	3.6	110 人	543 人	4.9		
		文 系	55	210	3.8	55	274	5.0	
		理 系	55	188	3.4	55	269	4.9	
	後期	20	363	18.2	20	420	21.0		
文 学 部	前期	190	654	3.4	190	651	3.4		
	後期	30	371	12.4	30	467	15.6		
教 育 学 部	前期	40	219	5.5	40	194	4.9		
	後期	20	160	8.0	20	159	8.0		
法 学 部	前期	332	968	2.9	340	982	2.9		
	後期	58	637	11.0	60	684	11.4		
経 済 学 部	前期	210	842	4.0	210	829	3.9		
		一 般	160	547	3.4	160	518	3.2	
		論 文	50	295	5.9	50	311	6.2	
	後期	30	434	14.5	30	491	16.4		
理 学 部	前期	294	959	3.3	294	1,035	3.5		
	後期	32	1,185	37.0	32	1,153	36.0		
医 学 部	前期	90	487	5.4	90	459	5.1		
	後期	10	260	26.0	10	308	30.8		
薬 学 部	前期	70	215	3.1	70	190	2.7		
	後期	10	136	13.6	10	156	15.6		
工 学 部	前期	922	2,289	2.5	940	2,470	2.6		
	後期	108	1,302	12.1	110	1,415	12.9		
地球工学科	前期	188	486	2.6	188	569	3.0		
		後期	22	262	11.9	22	342	15.5	
	建築学科	前期	85	224	2.6	85	193	2.3	
		後期	10	130	13.0	10	112	11.2	
	物理工学科	前期	232	539	2.3	232	587	2.5	
		後期	28	329	11.8	28	370	13.2	
	電気電子工学科	前期	126	310	2.5	126	332	2.6	
		後期	14	175	12.5	14	172	12.3	
	情報学科	前期	81	200	2.5	90	217	2.4	
		後期	9	133	14.8	11	136	12.4	
	工業化学科	前期	210	530	2.5	219	572	2.6	
		後期	25	273	10.9	25	283	11.3	
	農 学 部	前期	248	883	3.6	252	764	3.0	
		後期	62	897	14.5	63	829	13.2	
	合 計			2,886	13,659	4.7	2,921	14,199	4.9
		前期		2,506	7,914	3.2	2,536	8,117	3.2
後期		380	5,745	15.1	385	6,082	15.8		

（注） 法学部（後期日程）と経済学部（後期日程）の募集人員には、「外国学校出身者のための選考」の募集人員20人（法）と10人（経）が、志願者数には64人（法）と38人（経）がそれぞれ含まれています。

自衛消防団員に感謝状贈呈

1月6日(火)午後3時から事務局長室において、自衛消防団員に対して総長からの感謝状及び記念品が黒川事務局長より贈呈された。

この日感謝状を受けた団員は、尾上雅男(総合人間学部・人間・環境学研究科)、黒坂良一(農学部)、仲田 勝(工学部等)、福田浩二(施設部)、牧 良光(経理部)の各氏である。



〔お断り〕

前号(No.520、P404~407)に掲載しました「平成9年度の停年退職教官」の記事に以下の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

○P406、大学院工学研究科 富田 興志郎 先生の「研究分野等」(正)電気化学的当量点決定法の研究・…… (誤)電気科学的当量点決定法の研究・……

○P406、食糧科学研究所 井田 正二 先生の「出身校」(正)鳥根農大 (誤)鳥根医大

部局の動き

第3回医学教育ワークショップ(KUROME-3)の開催

第3回医学教育ワークショップ(Kyoto University Retreat on Medical Education:KUROME-3)が平成9年12月20日(土)と21日(日)の2日間、都ホテルにおいて開催された。本ワークショップは、教官が合宿して討議を重ね、自らが担当する教育の中で直面する問題の解決法を探り、さらに、医療における新しい課題に対応する教育技法を身につけることで、教育指導の内容の改善や充実に資することを目的とするものである。平成7年は医学部の全教授、平成8年は医学部の全助教授を対象に行われたが、今回は全講師を対象に行われた。

タスクフォースには順天堂大学医学部尾島昭次客員教授、浜松医科大学植村研一教授、日本医科大学岩崎 榮教授、日本赤十字武蔵野女子短期大学畑尾正彦教授、川崎医科大学伴 信太郎助教授の5氏が迎えられた。

第1日目は、福井有公評議員の開会の挨拶に続き、岩崎 榮教授が『医療の質と医学教育』について基調講演を行った。その後、よりよい教育法の原則と技法を修得し、直面する問題の解決方法を身に付けるべく、学習方法や学習方略、教育評価法などの個別テーマについて全体会議と小グループ討論が繰り返された。



返された。

また、第1日目の夕刻には、伴 信太郎助教授によって、標準模擬患者(Standardized Patient:SP)の実演、OSCE(Objective Structured Clinical Examination)の紹介も行われた。さらに、2日間にわたって、京大医学部における教育の問題点の列挙とそれらへの対応も、小グループ及び全体会議で討議された。

前回と同様、非常にタイトなスケジュールにもかかわらず、ほぼ全講師が参加して和やかな雰囲気の中で熱心な討議が行われたことは、今後よりよい医学教育を確立するための礎ができつつあることを確信させた。

(大学院医学研究科)

医療技術短期大学部の動き

平成10年度医療技術短期大学部入学者選抜学力試験について

平成10年度入学試験を、次の予定で実施する。

月	日	教 科	時 間
3月2日(月)		国 語	午前9時～10時30分
		数 学	午前11時～午後0時30分
		外国語	午後2時～3時30分
3月3日(火)		理 科	午前9時～11時
		※面接	午後0時30分～

※作業療法学科の志願者にのみ行う。

なお、1月30日(金)から2月5日(木)まで入学願書の受付が行われた。

学科別の入学志願者数は、次表のとおりである。

平成10年2月4日現在

学 科	募集 人員	志願 者数	倍率	(参考)昨年度		
				募集人員	志願者数	倍率
看 護 学 科	80	212	2.7	80	278	3.5
衛生技術学科	40	369	9.2	40	408	10.3
理学療法学科	20	239	12.0	20	279	14.0
作業療法学科	20	228	11.4	20	206	10.3
計	160	1,048	6.6	160	1,171	7.3

日誌

1997年12月1日～12月31日

12月1日 外国人研究者との懇談会
 3日 人権週間に因む研修会
 4日 総長、日中医学協会奨学金10周年記念式典に出席及び北京大学、清華大学における高等教育・研究機関の現状調査のため中華人民共和国を訪問(8日まで)
 ♪ 附属図書館商議会
 5日 アメリカ合衆国 ハーバード大学 Harold BOLITHO 教授他2名来学、総長特別補佐及び関係教官と懇談

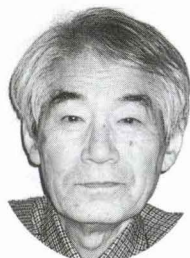
9日 後援会助成事業検討委員会
 ♪ 保健衛生委員会
 ♪ 能楽鑑賞会
 10日 環境保全委員会
 17日 放射性同位元素等管理委員会
 ♪ 国際交流委員会
 ♪ 国際交流会館委員会
 24日 総長交代式
 25日 年末特別消防演習

荣誉

島田虔次名誉教授が日本学士院会員に選ばれる

このたび、島田虔次名誉教授が日本学士院会員に選ばれた。

以下に同氏の略歴、業績等を紹介する。



島田虔次名誉教授は広島県出身、昭和16年京都帝国大学文学部史学科（東洋史学専攻）を卒業後、長野県野沢高等女学校教諭心得、東方文化研究所助手、東海大学予科教授を経て、同24年京都大学人文科学研究所（東方部）助教授に就任。昭和44年教授に昇任、同50年京都大学文学部教授に配置換となり、東洋史学第三講座を担当し、同56年に停年退官して名誉教授となり、今日に至っている。

島田虔次名誉教授は、明治以降に西洋近代文明の影響をうけて確立されたシノロジー（中国学）の諸分野において、数多くの優れた業績を挙げてきた。まず第一に、中国文明史とくにその思想的枢軸である儒学史の分野での貢献である。最初の著書『中国に於ける近代思维の挫折』（昭和24年）は、明代における陽明学の成立と展開が西洋近代（＝近世）における思想的展開と同質のものであることを、自我意識・合理精神を軸にしつつ分析・実証することによって、その面における中国史と世界史との結びつけに成功し、以後の中国近世思想史研究にとっての礎石を据えた。『中国近世の主観唯心論について－万物一体の仁の思想－』（昭和33年）は、戦後の学界の基層還元主義的な風潮のなかで、思想史研究の独自性を陽明学の内的論理の解明を通じて精密に主張したものである。さらに岩波新書『朱子学と陽明学』（昭和42年）は、宋代における新儒学の成立が仏教の影響によるとする通説に対して、儒学本来の内在的發展の結果とする自説を周到に叙述した画期的な業績であり、朱子学と陽明学の複雑な体系の根幹を選びだし、それをきわめて要領よく解説したものであるため、近世儒学のもっとも頼りとすべき概説書との定評を得て、ドイツ語訳、中国語訳も出されるに至っている。以上が儒学史上の業績であるのに加えて、清代の章学誠についての研究は史学史上の業績でもある。

同名誉教授は、明治以降に西洋近代文明の影響をうけて確立されたシノロジー（中国学）の諸分野において、数多くの優れた業績を挙げてきた。まず第一に、中国文明史とくにその思想的枢軸である儒学史の分野での貢献である。最初の著書『中国に於ける近代思维の挫折』（昭和24年）は、明代における陽明学の成立と展開が西洋近代（＝近世）における思想的展開と同質のものであることを、自我意識・合理精神を軸にしつつ分析・実証することによって、その面における中国史と世界史との結びつけに成功し、以後の中国近世思想史研究にとっての礎石を据えた。『中国近世の主観唯心論について－万物一体の仁の思想－』（昭和33年）は、戦後の学界の基層還元主義的な風潮のなかで、思想史研究の独自性を陽明学の内的論理の解明を通じて精密に主張したものである。さらに岩波新書『朱子学と陽明学』（昭和42年）は、宋代における新儒学の成立が仏教の影響によるとする通説に対して、儒学本来の内在的發展の結果とする自説を周到に叙述した画期的な業績であり、朱子学と陽明学の複雑な体系の根幹を選びだし、それをきわめて要領よく解説したものであるため、近世儒学のもっとも頼りとすべき概説書との定評を得て、ドイツ語訳、中国語訳も出されるに至っている。以上が儒学史上の業績であるのに加えて、清代の章学誠についての研究は史学史上の業績でもある。

第二に、同名誉教授は中国近代史のアカデミック

な研究方法を確立する上で重要な貢献をなした。すなわち伝統学術に対する深い学殖にささえられて、中国の伝統文明と西洋の近代文明との衝突・摩擦・受容・再編の複雑な絡み合いの諸側面を解明したのであって、蘊蓄を傾けた章炳麟についての研究などを収録した『中国革命の先駆者たち』（昭和40年）や、最近著の『隠者の尊重－中国の歴史哲学－』（平成9年）所収の論考がその成果である。

第三に、中国の古典を始めとする多くの重要文献の注解翻訳の分野で多大の貢献をなした。その成果は、朱子学が自らの体系構築の中軸に据えた『大学・中庸』（昭和42年）や、陽明学の精髓を開陳した入門書『王陽明集』（昭和50年）のほか、東アジア儒学史の構想のもとに、『荻生徂徠全集 第一巻 学問論集』（昭和50年）など日本儒学にも及んでいる。これらは、一字一句をも忽せにせぬ厳密な学風に裏打ちされた信頼すべき業績である。

同名誉教授は、人文科学研究所と文学部において東洋史の研究と教育に従事し、学問における厳格性と人間関係における温情味を兼ね備えて、数多くの優れた研究者を養成した。同名誉教授が監修した『アジア歴史研究入門』全6冊（昭和58～62年）は、薫陶を受けた多くの研究者の分担執筆によって成ったものである。

（大学院文学研究科）

訃 報寺松 孝 名誉教授

本学名誉教授寺松 孝先生は、平成9年12月13日に逝去された。享年75。

先生は、昭和21年9月京都帝国大学医学部を卒業、同大学結核研究所副手、同助手、

同助教授を経て昭和46年京都大学結核胸部疾患研究所教授に就任、昭和58年国立療養所兵庫中央病院長に転任、同時に結核胸部疾患研究所教授を併任、昭和59年同併任解除に伴い京都大学名誉教授の称号を受けられ、昭和63年から逝去されるまでの間、大寿会病院長を務められた。

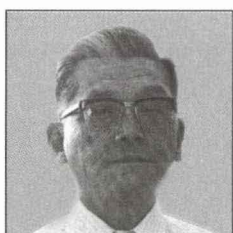
この間、昭和49年から同53年まで結核胸部疾患研究所附属病院長、昭和55年から同57年まで結核胸部疾患研究所長を歴任し、研究所の管理運営に貢献された。

先生は、肺結核に対する空洞切開術を開発し、難治性結核に対する外科療法を確立された。肺癌を始めとする呼吸器外科学の進歩に寄与された。また、国際学会の組織委員長等を歴任され、学会の発展に寄与された。

平成8年4月に勲二等瑞宝章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(胸部疾患研究所)

徳田 正夫 名誉教授

本学名誉教授徳田正夫先生は、12月15日逝去された。享年80。

先生は、昭和18年京都帝国大学医学部を卒業、同大学医学部助手、軍医予備員候補者、

軍医少尉などを経て、同21年同大学に復職、同33年同大学ウイルス研究所助教授、同54年同研究所教授に昇任された。昭和55年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和39年から同55年停年退官まで、同研究所附属ウイルス診断研究施設長を務められ、ウイルス病の診断の研究を担当された。

本学退官後は、昭和55年から同59年まで財団法人倉敷中央病院医学研究所長、同59年から同63年まで島根医科大学副学長を務められた。

先生は、ウイルス性疾患の血清疫学的診断法の開発に努力され、臨床でのウイルス性疾患診断の重要性の認識を高められた。また、各種疾患に関連する未知ウイルスの分離にも従事され、日本脳炎ウイルスや、各種腸内ウイルスの分離同定に多くの研究成果を残された。

また、日本ウイルス学会及び日本感染症学会において評議員を歴任された。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(ウイルス研究所)

田村 幹雄 名誉教授

本学名誉教授田村幹雄先生は、12月21日逝去された。享年89。

先生は、昭和6年京都帝国大学理学部化学科を卒業、同大学理学部講師、助教授、東

京工業大学助教授、教授を経て、昭和23年京都大学

工学部教授に就任、工業化学科第6講座を担当された。

昭和47年3月停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。

本学退官後は、凸版印刷株式会社顧問に就任された。

先生は、光化学、物理化学、写真化学及び高分子

物理化学の分野において優れた研究業績を残され、わが国化学の発展と化学工業の進歩に多大な貢献をされた。特に、写真化学及び高分子物理化学の分野においては、わが国の科学技術水準の高さを世界に認識させるのに寄与された。主な著書に『物理化学』上、下2巻等がある。

また、昭和32年から同36年まで日本写真学会会長

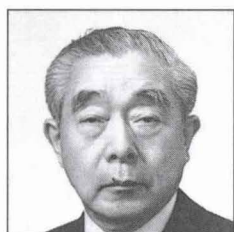
を務められ、同33年にドイツ写真学会特別会員となられ、同43年にアメリカ写真科学技術学会フェローの称号を受けられた。

これら一連の研究教育活動により、昭和55年4月勲三等旭日中綬章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(大学院工学研究科)

福井 謙一 名誉教授



本学名誉教授福井謙一先生は、1月9日逝去された。享年79。

先生は、昭和16年京都帝国大学工学部工業化学科を卒業、同大学工学部講師、助教授を経て昭和26年教授に就任、燃料化学第4講座（のちの高温化学講座）、ついで炭化水素物理化学講座を担当された。昭和57年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。この間、昭和45年11月から同48年3月まで京都大学評議員、同46年4月から同48年3月まで工学部長として、大学の管理運営に貢献された。

本学退官後は、昭和57年6月から同63年5月まで京都工芸繊維大学長を務められた。また昭和63年6

月からは財団法人基礎化学研究所長を務められていた。

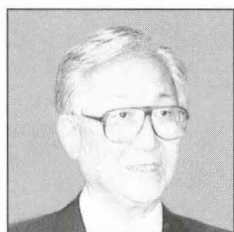
先生は理論化学、中でも量子化学に関する研究において優れた研究業績を残され、その発展に寄与されるとともに、フロンティア軌道理論を創始されるなど、化学反応論の分野において多大の貢献をされた。主な著書に『量子化学』、『化学反応と電子の軌道』等がある。

また、日本化学会、日本学術振興会などにおいて、会長を歴任された。これら一連の研究教育活動により、昭和37年5月日本学士院賞、同56年11月文化勲章、文化功労者の顕彰、同年12月ノーベル化学賞、同63年11月勲一等旭日大綬章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(大学院工学研究科)

福井 三郎 名誉教授



本学名誉教授福井三郎先生は、1月11日逝去された。享年78。

先生は、昭和17年京都帝国大学工学部工業化学科を卒業、同大学工学部講師、助教授、兵庫県立姫路工業大学工学部教授を経て昭和36年京都大学工学部教授に就任、同58年停年により退官され、京都大学名誉教授の称号を受けられた。本学退官後は国際高等研究所理事及び副所長を務められた。

先生は基礎及び応用生化学、中でもビタミン学、微生物生理学、酵素工学などに関する研究において

優れた研究業績を残され、その発展に寄与されるとともに、バイオテクノロジーの分野において多大の貢献をされた。主な著書に『酵素反応とその機構』、『酵素工学』等がある。

また、日本醗酵工学会、バイオインダストリー協会、酵素工学会などの会長を歴任された。これら一連の研究教育活動、学会活動により、国際酵素工学賞を始めドイツ、フランス、ベルギー各政府からの勲章を受賞されるとともに、平成5年4月勲二等瑞宝章を受けられた。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

(大学院工学研究科)

お知らせ

京大広報編集委員会では、『京大広報』に掲載する写真・挿絵等を広く求めています。皆様のご協力をお願いします。

<写真・挿絵等の応募要領>

1. 内 容：京都大学に関するものなら内容は特に問いません。例えば観測所や演習林などの各施設の四季の風景写真やスケッチまたクラブ紹介の写真など。
2. 形 式：特に問いません。
3. 説明文：簡単な説明文をつけてください。
4. 採 否：採否は京大広報編集委員会にご一任願います。
5. 締 切：特に期日は設けません。
6. 送り先：京都大学庶務部広報調査課気付

京大広報編集委員会

(京大広報編集委員会)

クラブ紹介

弓 道 部

京都大学弓道部は、本学の創設とほとんど時を同じくして創部され、昨年百周年を迎えました。昨年11月29日には、先輩約40人が参加した記念射会と120人の参加のもとに記念祝賀会と懇親会を、翌30日には国立七大学と関西地区の約20大学の弓道部を招待して、記念射会などを盛大に開催しました。また、先輩の多くからご寄付をいただき、「京都大学弓道部百年史」(題字はOBである井村裕夫前総長の揮毫)を刊行しました。

京都大学弓道部の男子は、ここ数年関西リーグ1部の上位にあり(女子は2部)、昨年は全日本学生弓道選手権大会(参加182大学)で準優勝を遂げています。部員数は女子約30人を含めて、100人近い大所帯です。

